

令和 2 年 7 月 2 日現在

機関番号：55401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K06766

研究課題名(和文) タイ・バンコクのイスラム空間から見る多民族・多宗教共存都市の形成史の解明

研究課題名(英文) Historical changes of Islamic spaces in Bangkok, Thailand

研究代表者

岩城 考信 (Iwaki, Yasunobu)

呉工業高等専門学校・建築学分野・准教授

研究者番号：50647063

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、モスク、集落、墓地の3つによって構成される、タイ・バンコクのイスラム空間について研究を行った。特に、1940年代までに形成されたイスラム空間がある旧市街地のモスクにおいて現地調査を行った。まず、イスラム空間を4つの空間タイプに分類し、それぞれの空間構成を明示した。さらに、バンコクのイスラム空間は、その空間構成、立地、社会背景、周辺との関係性によっての4つのタイプとなることを考察、詳述した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現在、ミャンマーやインド、またタイ南部の諸都市では、少数派であるイスラム教徒(ムスリム)に対する無理解と差別に基づく、対立と暴力が多発している。仏教徒が多数派であるバンコクには、現在、多様な民族的な出自を持つムスリムの192か所のモスクがある。しかし、民族や宗教に基づく対立は、発生していない。その背景には、ムスリムが、バンコクの為政者や社会、既存の都市空間に配慮し、融合しようとしてきた歴史的、空間的な過程があったと考えられる。本研究は、イスラム空間の構成や立地に着目し、その空間的な形成過程を明らかにするものである。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to look into the historical changes that have occurred in Islamic spaces that are comprised of mosques, settlements, and cemeteries in Bangkok, Thailand. Specifically, I carried out a survey of mosques in the old city area where there are many Islamic spaces that were established before the 1940s. Firstly, I classify Islamic spaces into four types and explain the spatial compositions of each type. Second, I examine and classify the relationship between spatial compositions, as well as their locations, social backdrops, and surroundings of Islamic spaces into four types.

研究分野：都市史

キーワード：タイ・ムスリム 集落 モスク 墓地 GIS マレー系ムスリム インド系ムスリム

1. 研究開始当初の背景

1782年の遷都以前からバンコクは、港市として多様な民族や宗教の人々を積極的に受け入れ、多民族・多宗教共存都市として発展してきた。それら民族集団や宗教集団は、職能集団でもあり、それぞれ独自の集落を形成していた。特に仏教を信仰する他民族の人々は、タイ人との婚姻を通して同化していった。

一方、バンコクのムスリムは、タイに文化的には同化しつつも、食事や習慣などに宗教的・民族的な伝統を維持している。宗教施設であるモスク、土葬を行う墓地、またハラールを提供し祭事を行うための集落が一体化した、イスラム空間を形成してきたのである。現在も、ペルシャ系、マレー系、ジャワ系、クメール系、そしてインド系といった、多様な出自を持つイスラム空間が維持されている。

現在、ミャンマーやインド、またタイ南部の諸都市では、少数派であるムスリムに対する無理解と差別に基づく、対立と暴力が多発している。仏教徒が多数派であるバンコクには、17世紀からモスクが設立され、ペルシャ系(シーア派)やアラブ系(スンニ派)の商人を中心としたムスリムが居住してきた。その後も、19世紀から20世紀前半にかけて南タイからのマレー系やカンボジアからのチャム系(スンニ派)、インド系(シーア派とスンニ派)、そしてジャワ系(スンニ派)などが主に商人や職人としてバンコクに流入した。2017年3月バンコクでは登録されているだけで、多様な民族的な背景を持つムスリムの192か所のモスクがある。しかし、バンコクでは民族や宗教に基づく対立は、発生していない。その背景には、ムスリムが、バンコクの為政者や社会、既存の都市空間に配慮し、融合しようとしてきた歴史的、空間的な過程があったと考えられる。

2. 研究の目的

本研究はタイ・バンコクにおける、モスク、墓地、集落からなるイスラム空間の構成や立地の分析を通して、多民族・多宗教が共存する都市の形成過程を解明するものである。また、バンコクのイスラム空間の分析を通して、地域に埋もれた多民族・多宗教共存のための為政者と市井の人々の都市的、空間的な関係性を明示することも本研究の目的の1つである。

3. 研究の方法

まず、バンコクのイスラム空間を、モスク、墓地、集落の有無から4つのタイプに分類した。第1にモスク、墓地、集落からなる完全型、第2にモスクと集落からなる集落型、第3にモスクと墓地からなる墓地型、第4にモスクのみの単体型である。特にバンコクの旧市街地のイスラム空間を、GISを用いて1932年印刷地図上にプロットし、各空間分類とその立地の関係性をマクロな視点か

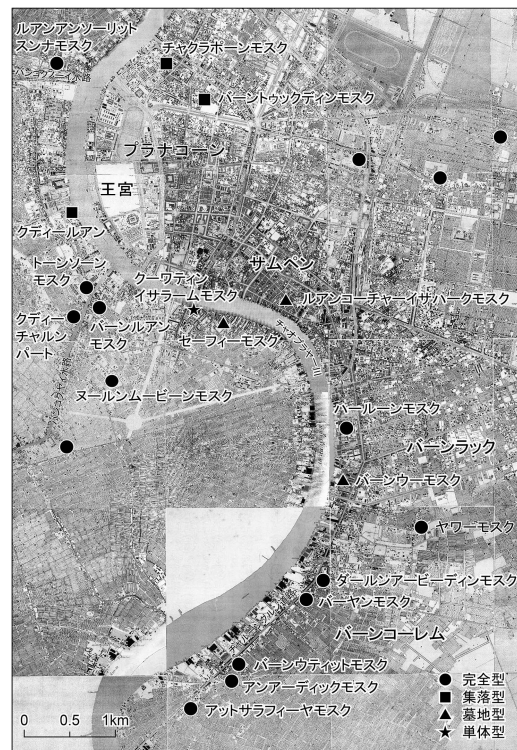


図1 1932年の旧市街地のイスラム空間の立地
(タイ国軍地図局所蔵の1932年印刷地図をもとに作成)

ら分析した(図1)。

墓地は、宗教的に火葬が禁止され、土葬されるムスリムにとって、死後の安静の場として重要な空間である。墓地は、通常、モスクや集落に近接して設置される。なかには、モスクや集落から数100メートル以上離れた場所に墓地があるものもある。バンコクでは近代的な衛生管理を目指して、1918年から1939年にかけて、墓地や火葬場に関する規制と法整備が行われた。こうして、すべての墓地や火葬場が登録制になり、設置が厳しく管理された。換言すれば、墓地のあるイスラム空間は、1940年代までには成立していたと判断できる。つまり、墓地の有無は、そのままバンコクにおけるムスリム空間の設立年代を判定する指標にもなり得るのである。

続いて、現地調査やタイ語文献、また古地図などから得られる情報をもとに、それぞれのイスラム空間の設立年代を調査した。さらに、出自や設立年代、立地や空間構成の異なる様々なイスラム空間で、聞き取り調査を行った。

以下、旧市街地のイスラム空間を中心に4つのタイプごとに報告する。

4. 研究成果

(1) 完全型のイスラム空間

モスク、集落、墓地によって構成される完全型は、そこが幹線水路や幹線道路に面しているか否かで、地区における成立時期や、またコミュニティのタイにおける社会階層などを読み取ることができた。

幹線道路沿いの完全型

バンコクヤイ水路に沿いにあるトンソンモスクは、17世紀初頭に交易のために来たアラブやペルシャの商人によって設立された、バンコク最古の、格式高いスンニ派のモスクである。トンソンモスクはこれまで、通訳官などの官僚を多数輩出し、歴史的に王権と強い結びつきを持ちながら、イスラム空間を形成してきた。成立時期が古く、また王権との強い繋がりを持つので、幹線水路沿いという一等地にイスラム空間が形成されてきたと考えられる。

支線水路沿いの完全型

イスラム空間の中には、地区が開発される初期段階から遅れて入植した、あるいは王権との強い結びがないものも、多数あった。完全型の中には、幹線水路や幹線道路に面さない内陸に形成されたり、支線水路に沿って形成されたりしたものも存在した。

バーンルアンモスクは、バンコクヤイ水路を挟み、前述したトンソンモスクの対岸に立地する。モスクは18世紀末から19世紀初頭に建設された、仏教寺院のようなデザインのものである。水路沿いには、仏教系タイ人の敷地が並び、その裏の内陸側に小路が通り、ムスリムの集落とモスクがある。モスクの裏側には墓地が立地し、その周りには、1932年印刷地図を見れば、現在は宅地開発され消失したものの仏教系タイ人が経営する果樹園が広がっていたことが分かる。このイスラム空間の人々は、歴史的には周辺で採れた青果を売買する商人が多かった。そして、水辺と内陸側には仏教系タイ人の地所が形成されており、それらを避ける形で幹線水路沿いではなく、内陸側の支線水路沿いにイスラム空間が形成されたと考えられる。

バンコクの旧市街地では、幹線水路や幹線道路沿いといった一等地にあるモスクよりも、街区の内部にあるモスクの方が多い。バンコクにおいてイスラム教は、仏教のように土着の宗教ではなく、イスラム空間の形成は外部からの入植によって始まる。そのため、王といった有力者から土地を与えられるといった特別な事情がない状態で、地区の開発の初期段階

に入植できなければ、幹線水路や幹線道路沿いという一等地にイスラム空間を形成することができなかったことが明らかとなった。

モスクと墓地の間に距離のある完全型

サートン道路以南のバーンコーレムと呼ばれる郊外では、チャルーンクルン道路の近辺に5つのイスラム空間がある。それら5つは、完全型である。バーンコーレムの5つのものでは、モスクと墓地は、隣接しておらず、その距離が短いもので直線距離 220メートルほど、長いものでは550メートルほどある。

1932年印刷地図を見ると、モスクや墓地の周りには、果樹園が広がっていたことがわかる。ここでは、1960年代までは、ドリアンなどの果樹園を営むムスリムが多かった。旧市街地のムスリムは、生業としては、商人や職人、あるいは官僚が多く、果樹園を営む者はいなかった。一方、郊外では、果樹園を営むムスリムも多い。果樹園といった農業には、ある程度の広さをもった農地が必要となる。農業ができる大規模な土地をムスリムが所有していたということは、この地に彼らが比較的早く入植していたことを意味する。実際、地区で最も古いアンアティックモスクは、19世紀前半に設立されている。

このように、ムスリムの入植が比較早く、農業を基盤とするイスラム空間であったから、農地を避け、土地にゆとりがある内陸部に、より大きな墓地が形成されたと考えられる。

(2) 集落型のイスラム空間

バンコク旧市街地における集落型の立地は、王宮を抱く旧城壁内プラナコーンと19世紀後半から郊外住宅地としての開発も進んだ、西洋人街であるバーンラックに大別することができる。また、墓地の設置の規制が進んだ1940年代以降に形成されたイスラム空間もこのタイプとなる。特にプラナコーンにある集落型の設立の年代や背景を具体的に報告する。

プラナコーンには、チャクラポンモスクとバートゥックディンモスクがある。これらは、19世紀前半までに形成された、南タイのパタニーの貴金属加工職人といったマレー系人々が、戦争捕虜として移住させられ、形成されたイスラム空間である。王宮を抱く神聖な領域であるプラナコーンでは、遷都以来、庶民の墓地や火葬場の設置は禁止されてきた。ゆえに、プラナコーンの2つのモスクは、バンコクにおいてトンソンモスクなどに続き古いモスクではあるものの、墓地がない。また、これら2つのイスラム空間は、幹線水路や幹線道路に隣接しない、街区の内部に形成されているという共通点もある。幹線道路沿いにイスラム空間がないという構成は、前述したバーンルアンモスクと類似している。このコミュニティの入植時にも、幹線道路や幹線水路沿いは、すでに開発が進んでおり、開発が遅れていた街区内部にイスラム空間が形成されたと考えられる。

新たな墓地の設置が許されない1940年代以降のイスラム空間の多くは、集落型となる。まず、有力者や篤志家、資産家の寄進を中心に、土地が確保されたり、購入されたりして、モスクが建設される。この場合、地区でモスクが足りなくて新たに建設されることもあれば、民族や出自に応じて建設されるものものもある。そして、モスクには、人が集まり、それに応じて店舗や住宅も設置され集落が形成されていくのである。

(3) 墓地型と単体型のイスラム空間

バンコクの旧市街地では、墓地型は3つ、単体型は1つと非常に少ない。

墓地型のイスラム空間

墓地型のイスラム空間で最も古いものは、華人街サムペンに設置されたルアンコーチャーイッサハークモスクである。ここは、19世紀後半に南タイ出身のマレー系の官僚が、王から土地を下賜され、周辺で働くムスリムの礼拝のために設置したモスクである。モスクの裏

に墓地はあるものの、華人街内というので、ムスリムの集落は隣接して形成されていない。

また、インドネシア系の商人によって、1948年にバーンラックに設立されたバーンウーモスクの裏には、設置年代は不明であるが墓地がある。このモスクは、インドネシア系商人を中心に墓地を併設して建設されたものの、既存市街地には集落を形成する空間は十分ではなく、また周辺にはハールーンモスクやヤワーモスクといった、歴史あるイスラム空間がすでにあつたため、周辺に集落は形成されなかったと考えられる。

墓地型のイスラム空間は、20世紀初頭から1940年代にモスクが設立された、旧市街地では比較的新しいものである。そして、モスクと墓地は、設置されたものの、周辺環境や設立背景に対応して、集落が形成されなかったのである。

単体型のイスラム空間

旧市街地における単体型は、チャオプラヤー川沿いに立地するクワティンイサラームモスクのみである。このモスクは、チャオプラヤー川沿いという一等地に立地する。現在、モスクに隣接して、ムスリムの集落や墓地はない。

クワティンイサラームモスクは、19世紀半ばに周辺で働くムスリムのために王によって建設されたモスクである。このモスクは、初代が19世紀後半にインドのグジャラート州スーラトより商人として来タイし、現在はバンコクの大地主として都市開発を行うナーナー家の保護のもと発展してきた。

ナーナー家は、商人としてクワティンイサラームモスク周辺に居を構えた。ナーナー家は、3代目が活躍した20世紀初頭以降、特に大きく繁栄した。モスクの東側の土地を購入し、1913年にタイ米の輸出と砂糖の輸入を行う貿易会社RBM社(Randery Bramarkran社)を設立し、またバンコクの土地を集積するようになったのである。10代からRBM社で働いていた男性(75歳)によれば、クワティンイサラームモスク周辺には、小さな墓地とナーナー家を中心とした集落がもともとは形成されていたという。詳細な年代は不明であるが都市開発に伴い墓地は取り壊され、ナーナー家の人々も、戦後にはチャオプラヤー川を渡ったバンコク郊外へ転出したのである。

クワティンイサラームモスクには、もともとは完成型のイスラム空間があつた。それが、墓地の撤去とムスリム達の転出によって、現在ではモスク単体型へと変化したのである。換言すれば、バンコク旧市街地において、1940年代までに成立していたイスラム空間には、単体型は存在しなかったことが明らかとなった。

(5) まとめ

本研究では、バンコク郊外での現地調査も実施した上で、特にバンコクの旧市街地のイスラム空間について、モスク、集落、墓地の3つの要素に着目し分析してきた。そして、イスラム空間を、大きく4つのタイプに分類する研究モデルを明示した。すなわち、モスク、集落、墓地からなる完全型、モスクと集落からなる集落型、モスクと墓地からなる墓地型、そしてモスクのみの単体型である。また、墓地の有無は、イスラム空間の成立が、墓地の設置の規制が強化された1940年頃の以前か、以後かを読み解く上での指標となることが明らかとなった。さらに、旧市街地では、そもそも単体型のイスラム空間は存在しなかったことを見出した。それは、完全型のイスラム空間から集落と墓地がなくなり、モスクだけ残されたものであったのだ。

バンコクのイスラム空間の構成は、成立の時期や社会背景、人々の生業、王権や周辺環境との関係のもと、4つタイプが生み出されてきたことが明らかとなった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 伊達千尋、岩城考信	4. 巻 41
2. 論文標題 タイの洪水常襲地域にあるアユタヤ県バーンバーン地区の洪水対策の多様性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会中国支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 705-708
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 濱本真実、岩城考信	4. 巻 41
2. 論文標題 呉市市街地における木造隅切り建築の形態分類	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会中国支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 901-904
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 櫻井宗一郎、岩城考信	4. 巻 41
2. 論文標題 広島県呉市・宮原地区に現存するレンガ塀の意匠の多様性とその背景	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会中国支部研究報告集	6. 最初と最後の頁 881-884
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 1件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 岩城考信
2. 発表標題 タイ中部の洪水と共存する建築と暮らし
3. 学会等名 広島県建築士会呉地区支部平成30年度けんちく講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩城考信
2. 発表標題 インド系ムスリムと近代バンコクの都市空間
3. 学会等名 第25回日本タイ学会定例研究会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 笹川平和財団編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 イースト・プレス	5. 総ページ数 336
3. 書名 アジアに生きるイスラーム	

1. 著者名 「都市の危機と再生」研究会編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 399
3. 書名 危機の都市史：災害・人口減少と都市・建築	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------	---------------------------	-----------------------	----